



2019年11月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年4月12日

上場会社名 イワキ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8095 URL <https://www.iwaki-kk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩城 慶太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 熱海 正昭

TEL 03-3279-0481

四半期報告書提出予定日 2019年4月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年11月期第1四半期の連結業績(2018年12月1日～2019年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第1四半期	14,755	8.9	506	534.6	544	477.7	349	660.7
2018年11月期第1四半期	13,553	3.5	79	77.3	94	76.8	45	91.5

(注) 包括利益 2019年11月期第1四半期 247百万円 (%) 2018年11月期第1四半期 0百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第1四半期	10.77	
2018年11月期第1四半期	1.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年11月期第1四半期	41,077	19,291	46.9	593.33
2018年11月期	41,431	19,219	46.3	591.72

(参考) 自己資本 2019年11月期第1四半期 19,255百万円 2018年11月期 19,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期		5.00		5.50	10.50
2019年11月期					
2019年11月期(予想)		5.50		5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年11月期の連結業績予想(2018年12月1日～2019年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	6.8	860	0.2	900	1.2	650	5.3	20.05
通期	63,000	4.9	2,000	8.2	2,000	0.0	1,550	9.6	47.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年11月期1Q	34,508,789 株	2018年11月期	34,508,789 株
期末自己株式数	2019年11月期1Q	2,056,150 株	2018年11月期	2,082,406 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年11月期1Q	32,442,442 株	2018年11月期1Q	32,197,087 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予測等の前提に基づいて作成したものであり、実際の実績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細につきましては、添付資料の「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2018年12月1日～2019年2月28日）におけるわが国経済は、海外経済の動向と政策に関する不確実性や中国経済の先行きに留意する必要はあったものの、雇用・所得環境の改善、各種政策の効果もあり、緩やかに回復いたしました。

このような状況のもと、当社グループでは、更なる成長と企業価値の向上を目指して策定した、創業111周年を迎える2025年11月期に向けた中長期ビジョン及び3ヵ年の中期経営計画を推進するため、各事業での主要施策の展開に注力してまいりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は147億5千5百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は5億6百万円（同534.6%増）、経常利益は5億4千4百万円（同477.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億4千9百万円（同660.7%増）となりました。

なお、前年同期と比べた営業利益の大幅増加の主たる要因は、医薬・FC事業における基礎的医薬品の増益効果が、昨年度は第2四半期から寄与し始めたことに対して、今年度は期初から貢献したことに加えて、その他の事業においても利益が好調に推移したことによるものです。

次にセグメントの概況につきご報告申し上げます。

医薬・FC事業

医薬品原料分野では、物流コストの増大や中国環境規制に伴うコスト上昇、調達難が顕在化する一方、引き続き製販業者からの値下げ要望も強く、利益確保が容易ではない状況のもと、原材料等のマルチソース化、販売価格の是正、新規の医薬中間体・添加剤・中分子分野を含む医薬品原料提案に取り組みました。その結果、原材料等の値上がりに伴う原価上昇の影響はあったものの、新規原料医薬品として消化器系・脳血管症原薬が大幅に伸長し、自社製造の抗アレルギー剤や受託の電子・機能性材料の製品も貢献し、売上・利益共に好調に推移いたしました。

医薬品分野では、医療用医薬品は、安定供給体制のもと、主要外用剤を中心に男性型脱毛治療薬などの新製品を加え、調剤薬局・DPC病院等の医療機関における積極的な情報提供活動に取り組んでまいりました。その結果、主力の外用剤は、全般的に販売が好調に推移し、特に、抗真菌剤や副腎皮質ホルモン剤など主力品の売上が大幅に伸長いたしました。一般用医薬品は、「ビタミンC末」の売上が好調に推移いたしました。また営業利益は、副腎皮質ホルモン・抗生物質配合剤が基礎的医薬品に指定され、2018年4月の薬価改定の影響をカバーし、主力品の伸びと合わせ大幅に伸長いたしました。

以上により、当事業全体の売上高は54億4千2百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益4億5千5百万円（同185.3%増）となりました。

HBC事業

機能性食品原料分野では、自社企画品の提案強化、既存顧客との取引拡大に取り組んでまいりました。また、化粧品原料分野では、自社原料の開発・提案強化、輸入原料の拡販などに注力いたしました。その結果、機能性食品原料分野では、自社企画品の提案、新規商品の販売に成果が得られました。また、化粧品原料分野は、市場の好調を背景に主力原料・自社原料が伸長し、堅調に推移いたしました。

一般用医薬品を主体とした卸売分野では、自社企画品の提案、海外向け販売及び既存顧客との取引の拡大に向けた施策に取り組むとともに、新規顧客開拓に取り組んでまいりました。その結果、既存顧客との取引拡大、海外向け販売に一定の成果が得られました。また、新規顧客の開拓についても順調に推移し、全体的には堅調に推移いたしました。

化粧品通販分野では、新製品の開発及び発売、新規顧客の開拓、既存顧客へのプロモーション活動の強化、クロスセル（関連商品の提案・販売促進）向上に注力いたしました。その結果、化粧品並びに機能性食品の新製品を発売いたしました。また、新規顧客向け広告宣伝、既存顧客向けプロモーションが計画を下回り、売上高は前年並みで推移いたしました。

以上により、当事業全体の売上高は60億3千6百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は2千3百万円（前年同期は5千8百万円の営業損失）となりました。

化学品事業

表面処理薬品分野では、プリント配線板向けでは新規銅めっき添加剤の投入、半導体向けでは海外を中心にシード層エッチング薬品の展開を行いました。また、国内でも成長市場である半導体向けUBMめっき薬品は、新規獲得に向けた活動を継続いたしました。更に新たにラインアップに加わった水平搬送用無電解銅めっき薬品、亜鉛めっき添加剤の普及活動に努めました。その結果、プリント配線板及び電子部品向けは、市場環境悪化に伴う海外顧客の稼働率低下により既存販売が減少、また新規獲得遅延の影響もあり、低調に推移いたしました。半導体向けはシード層エッチング薬品及びUBMめっき薬品が国内外とも堅調に推移いたしました。

表面処理設備分野では、強みであるカスタマイズ性を損なうことなく、半世紀に亘り培ったノウハウをもとに、基本構成の標準化を推し進め、個別の受注品の収支改善に努めてまいりました。また技術開発では、今後の増産が期待される車載基板向け装置の改善を進めてまいりました。その結果、受注品の個別収支が前年と比較して大幅に改善され、好調に推移いたしました。

以上により、当事業全体の売上高は17億4千4百万円（前年同期比23.5%増）、営業利益は3千6百万円（前年同期は1千1百万円の営業損失）となりました。

食品事業

食品原料分野では、関連会社での受託加工、新規原料の提案活動、既存原料の拡販活動、健康志向食品向け原料の提案及び海外向け販売の強化に取り組んでまいりました。その結果、新規受注の獲得、既存原料の販売増加並びに健康志向食品向け原料の需要増加により、全体的には堅調に推移いたしました。

以上により、当事業全体の売上高は10億7千7百万円（前年同期比9.2%増）、営業損失は4百万円（前年同期は3百万円の営業損失）となりました。

その他

当事業全体の売上高は4億5千3百万円（前年同期比3.5%減）、営業損失は4百万円（前年同期は6百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産410億7千7百万円（前連結会計年度末比3億5千3百万円減）、負債合計217億8千5百万円（同4億2千5百万円減）、純資産192億9千1百万円（同7千1百万円増）となりました。

総資産の減少の主な理由は、現金及び預金の減少1億7千9百万円、受取手形及び売掛金の減少6億7千4百万円、商品及び製品の増加5億9千万円によるものです。負債合計の減少の主な理由は、短期借入金の増加6億円、未払費用の減少7億1千9百万円、未払法人税等の減少2億4千8百万円によるものです。純資産の増加の主な理由は、利益剰余金の増加1億6千4百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億1千2百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月期の業績予想につきましては、2019年1月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,746,385	4,566,951
受取手形及び売掛金	14,672,473	13,997,914
電子記録債権	2,031,728	2,104,227
商品及び製品	3,488,012	4,078,330
仕掛品	1,199,466	1,329,709
原材料及び貯蔵品	1,084,059	1,097,931
その他	678,453	689,852
貸倒引当金	△55,755	△54,086
流動資産合計	27,844,825	27,810,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,470,103	8,503,036
減価償却累計額	△6,045,597	△6,082,612
建物及び構築物（純額）	2,424,506	2,420,424
機械装置及び運搬具	8,208,419	8,252,320
減価償却累計額	△7,483,842	△7,538,291
機械装置及び運搬具（純額）	724,577	714,029
土地	3,411,935	3,415,034
その他	3,101,293	3,099,003
減価償却累計額	△2,479,043	△2,503,219
その他（純額）	622,249	595,783
建設仮勘定	194,492	194,492
有形固定資産合計	7,377,760	7,339,763
無形固定資産		
のれん	389,669	384,674
技術資産	429,975	424,462
顧客関連資産	125,000	122,492
その他	186,305	191,481
無形固定資産合計	1,130,950	1,123,110
投資その他の資産		
投資有価証券	3,930,978	3,770,148
その他	1,199,198	1,085,398
貸倒引当金	△52,681	△51,948
投資その他の資産合計	5,077,495	4,803,599
固定資産合計	13,586,206	13,266,473
資産合計	41,431,031	41,077,304

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,586,857	9,536,225
電子記録債務	3,179,902	3,092,107
短期借入金	3,296,800	3,896,800
未払費用	1,617,238	897,826
未払法人税等	456,795	208,264
賞与引当金	64,372	309,329
返品調整引当金	10,350	11,700
製品保証引当金	10,713	8,491
ポイント引当金	411	—
その他	811,176	818,875
流動負債合計	19,034,618	18,779,619
固定負債		
長期借入金	452,000	437,000
繰延税金負債	509,476	349,539
株式報酬引当金	109,628	109,628
退職給付に係る負債	1,668,447	1,704,431
その他	437,305	405,597
固定負債合計	3,176,857	3,006,196
負債合計	22,211,476	21,785,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,637,080	2,637,080
資本剰余金	4,254,389	4,254,389
利益剰余金	11,285,393	11,449,939
自己株式	△595,470	△586,595
株主資本合計	17,581,392	17,754,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,477,343	1,365,126
繰延ヘッジ損益	3,923	2,358
為替換算調整勘定	77,203	87,670
退職給付に係る調整累計額	47,603	45,171
その他の包括利益累計額合計	1,606,073	1,500,327
非支配株主持分	32,089	36,346
純資産合計	19,219,555	19,291,487
負債純資産合計	41,431,031	41,077,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)
売上高	13,553,740	14,755,684
売上原価	10,910,950	11,606,500
売上総利益	2,642,789	3,149,183
販売費及び一般管理費	2,563,034	2,643,055
営業利益	79,755	506,127
営業外収益		
受取利息	244	416
受取配当金	17,493	20,514
受取賃貸料	13,678	11,868
持分法による投資利益	—	695
その他	23,873	31,171
営業外収益合計	55,290	64,666
営業外費用		
支払利息	5,629	5,930
賃借料	7,866	7,622
為替差損	18,088	8,722
持分法による投資損失	7,461	—
その他	1,678	3,579
営業外費用合計	40,724	25,854
経常利益	94,321	544,940
特別利益		
固定資産売却益	15,000	44
投資有価証券売却益	—	1,250
特別利益合計	15,000	1,294
特別損失		
固定資産処分損	2,930	1,252
特別損失合計	2,930	1,252
税金等調整前四半期純利益	106,391	544,981
法人税、住民税及び事業税	64,729	196,701
法人税等調整額	△18,394	△4,210
法人税等合計	46,334	192,491
四半期純利益	60,056	352,490
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,133	3,147
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,923	349,342

（四半期連結包括利益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2017年12月1日 至 2018年2月28日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2018年12月1日 至 2019年2月28日）
四半期純利益	60,056	352,490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,712	△112,046
繰延ヘッジ損益	△3,717	△1,564
為替換算調整勘定	△2,073	11,576
退職給付に係る調整額	1,975	△2,431
持分法適用会社に対する持分相当額	105	△170
その他の包括利益合計	△59,423	△104,636
四半期包括利益	633	247,853
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,641	243,596
非支配株主に係る四半期包括利益	14,275	4,257

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2017年12月1日 至2018年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬・FC	HBC	化学品	食品	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	4,822,551	5,862,086	1,412,013	986,808	13,083,460	470,280	13,553,740	—	13,553,740
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	93,869	1,716	2,478	—	98,064	1,322	99,387	△99,387	—
計	4,916,421	5,863,803	1,414,491	986,808	13,181,524	471,602	13,653,127	△99,387	13,553,740
セグメント利益又は損失(△)	159,762	△58,552	△11,190	△3,892	86,127	△6,231	79,895	△140	79,755

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物用医薬品の卸売等でありませ

す。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△140千円は、棚卸資産の調整額によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自2018年12月1日 至2019年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬・FC	HBC	化学品	食品	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	5,442,961	6,036,930	1,744,101	1,077,881	14,301,874	453,809	14,755,684	—	14,755,684
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	73,989	1,397	12,672	—	88,058	1,399	89,458	△89,458	—
計	5,516,950	6,038,327	1,756,774	1,077,881	14,389,933	455,208	14,845,142	△89,458	14,755,684
セグメント利益又は損失(△)	455,760	23,096	36,252	△4,286	510,821	△4,020	506,801	△673	506,127

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物用医薬品の卸売等でありませ

す。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△673千円は、棚卸資産の調整額によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。